30 年前のビル建材に有害物質 PCB　兵庫県調査

The Knights

兵庫県立環境科学研究センターの調査により、68 年から 72 年にかけて完成した県内の公共建築物のビル壁面や窓枠の継ぎ目に使用された「シーリング材」に有害化学物質である PCB を含むものがあったことが判明しました。今回の調査は兵庫県内の建築物について行われましたが、全国的に使用していたとみられており、環境省も実態調査に乗り出します。

今回の調査結果は、99 年に行われた県内の大気中ダイオキシン濃度調査の際に検出された異常な数値の原因調査によりわかりました。問題のシーリング材は「ポリサルファイド系」と呼ばれる合成樹脂系の中でも、68～72 年の製品で PCB の含有率は最大で 19%でした。兵庫県の調査では、この時期に完成した市役所庁舎やホールなど県内 82 施設のうち 8 つの建物で使用されており、うち 2 つの建物では室内空気中の PCB 濃度が 1 立方メートルあたり 65ng 、386ng と、周辺大気中の数百倍に達しました。

環境庁（当時）が 72 年に作った暫定基準は、大気中 1 立方メートルあたり 500ng 以下。同センターは「汚染は健康に影響のないレベルとみてよいが、一部の建設関係者以外にはほとんど知られていなかった発生源なので対策が必要」としています。

「日本シーリング材工業会」によると、68～72 年のポリサルファイド系シーリング材の国内生産量は計 7564 トン。事務所ビルや公共施設などの鉄骨鉄筋コンクリートの高層建物の外壁の継ぎ目、窓枠部分に使用が多く、1 棟で数トン使われることもありました。しかし、普通のマンションやアパートには「使われている可能性は低い」（同会）とし、民家にはほとんど使用されていないとのことです。

PCB は 72 年の製造禁止後、含有する廃棄物は「特別管理廃棄物」とされ安全な場所への保管と数量の届け出が義務づけられています。しかし、老朽化で解体された PCB 混じりの廃材は、安定型処分場に廃棄されてきました。

環境省産業廃棄物課は「使用量や場所などに不明な部分が多い」として、PCB のこれまで知られていなかった用途、処理方法を実態調査するために今年度予算に 1300 万円を計上しています。

資料：　平成15年4月19日　朝日新聞

環境事業部　計測課　　須永晃央

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336 -0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590　FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

■事業内容■
1 環境管理に伴う調査･測定･化学分析
2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明
3 ビル管理に伴う水質検査･空気環境測定
4 水道法第 20 条に基づく水質検査
5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査
6 労働衛生管理に伴う作業環境測定
7 トータルサニテーション管理
8 委託試験･研究･開発